

事後評価結果（令和7年度）

担当課：宮崎県 道路建設課

担当課長名：椎葉 倫男

事業名	地域高規格道路 都城志布志道路 一般県道 飯野松山都城線 金御岳工区	事業区分	地方道	事業主体	宮崎県				
起終点	自：宮崎県 都城市 梅北町 至：宮崎県 都城市 梅北町			延長	2.9km				
事業概要									
都城志布志道路金御岳工区は、地域高規格道路「都城志布志道路」の一部を構成する道路であり、渋滞緩和、地域の活性化等を目的とした延長約2.9kmの道路である。									
事業の目的・必要性									
都城志布志道路は、九州縦貫自動車道宮崎線都城ICと九州唯一の国際バルク戦略港湾志布志港及び東九州自動車道とを連結し、都城市の地域資源を最大限に活用し、南九州における拠点性の向上及び経済発展に寄与するものである。									
事業概要図									
事業の効果等	事業期間	事業化年度	H25年度	用地着手	H26年度	供用年	(当初) —/R3 (実績) —/R3	変動	1.0倍
		都市計画決定	なし	工事着手	H26年度	(暫定/完成)			
	事業費	計画時 (暫定/完成)	(名目値) (実質値)	— /78億円 — /78億円	実績 (暫定/完成)	(名目値) (実質値)	— /78億円 — /78億円	変動	1.0倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)		— / 12,600台/日	実績 (暫定/完成)		— / 11,500台/日	変動	84%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	42.1	→	76.0 km/h	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	9.3	→	0 件/億台キロ	
		(供用直前年次) H27年度		(供用後年次) R3年度		(供用直前年次) H29-R2年度		(供用後年次) R3-R6年度	
費用対効果分析結果 (当初)	B/C	EIRR	総費用	77億円 (事業費: 75億円 維持管理費: 1.5億円 更新費: 億円)	総便益	157億円 (走行時間短縮便益: 118億円 走行経費減少便益: 20億円 交通事故減少便益: 19億円)	基準年	平成24年	
費用対効果分析結果 (事後)	B/C	EIRR	総費用	240億円 (事業費: 238億円 維持管理費: 2.4億円 更新費: 億円)	総便益	343億円 (走行時間短縮便益: 272億円 走行経費減少便益: 68億円 交通事故減少便益: 3億円)	基準年	令和7年	
事業遅延によるコスト増	費用増加額			— 億円	便益減少額			— 億円	

	<p>事業遅延の理由</p> <p>—</p>
	<p>交通量変動の理由</p> <p>ベースとなるセンサスの年次が平成17年から平成27年に変更されたことによる。</p>
	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>① 物流効率化の支援 重要港湾である志布志港へのアクセス向上（都城市～志布志港：約4分短縮）</p> <p>② 国土・地域ネットワークの構築 地域高規格道路の位置づけがあり、新たなネットワーク構築により、物流の効率化が図られ地域経済の活性化に寄与</p> <p>③ 安全で安心できるくらしの確保 第2次救急医療施設「都城市郡医師会病院」へのアクセス向上</p> <p>④ 災害への備え 対象区間が第1次緊急輸送道路ネットワークに位置付けがあり、災害時の物資供給等の応急活動を支援する道路として期待</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし。</p>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>特になし。</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし。</p>
	<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>—</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都城志布志道路について、都城IC～乙房IC（R7.2）および志布志IC～志布志港（R7.3）が開通した。 【開通による整備効果：記者発表R7.11.20 国土交通省】 ○ ネットワークの形成に伴う交通の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都城IC～志布志港間の所要時間が約30分短縮 ・ 交通量が開通初期の1,300台から8,300台以上、約6倍に増加 ・ 国道10号等並行路線の交通量が2割減少し渋滞が緩和 ○ 港湾物流の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送時間が短縮し労働時間内に3往復の運搬が可能となる。 ○ 広域的な地域医療の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大崎分署から都城市郡医師会病院への所要時間が約34分短縮し広域的な医療活動を支援
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>投資効果が確認されており、今後の事業評価及び改善措置の必要性がないと判断される。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>事業評価の結果、同種事業の調査計画のあり方や事業評価手法について見直しの必要性はない。</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし。</p>

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。